

令和5年度 社会福祉法人未来 本部事業計画書

1 はじめに

令和5年度の事業の柱はこれ迄の方針を継承し、①危機管理（感染症対策、事故防止、虐待防止、災害対策など）、②既存事業の充実、③新規事業の準備、④人材確保と育成、⑤地域連携と考えている。

5つの基本方針は全て互いに関連するものであるが、その基本はやはり、人材の育成といえる。中長期的視点を持ちながら、人材の育成、そして事業の充実により、現在また将来に渡って地域福祉促進に寄与できる体制を構築していきたい。

2 重点課題・目標

1) 危機管理

(1) 新型コロナウイルス等感染症防止対策の実施

- ①感染症対策委員会の開催及び研修・訓練の実施
- ②消毒、検温、換気等の基本的感染症対策の実施
- ③ワクチン接種の実施

(2) 交通事故防止

- ①安全運転に関する情報誌の配布
- ②アルコールチェックの実施
- ③安全運転に関する研修の実施

(3) 誤薬等の事故防止

- ①マニュアルの周知徹底
- ②ヒヤリハットの実施と原因究明と再発防止の為の検証

(4) 食品管理に伴う事故の防止

- ①マニュアルの周知徹底

(5) 虐待防止

- ①虐待防止委員会の開催及び研修の実施
- ②権利擁護に関する各種規程等の周知

(6) 身体拘束等の適正化

- ①身体拘束等の適正化廃止委員会の開催及び研修の実施

(7) 災害対策

- ①災害対策委員会の開催及び研修・訓練の実施
- ②自衛消防訓練の実施
- ③小平手をつなぐ親の会との共催による防災訓練の実施

(8) 法制度に基づいた労務管理の徹底

2) 既存事業の充実

(1) 障害福祉サービス事業所

- ① P D C Aサイクルの実施、事業内容の充実
- ② 安定経営

(2) 成年後見事業

- ① 受任案件増加

令和5年度中に受任案件を1件増やし4件とする。

② 実施体制強化

登録スタッフを2名以上確保する。また、社会福祉法人六三四との連携により地域での法人後見の推進を図る。

3) 新規事業の準備

(1) 新規生活介護事業所の開設準備（新規共同生活援助事業所と併設）

- ① 候補物件について、用途変更の可否について調査を実施する。
- ② 計画的に施設整備積立金を積み立て、資金計画を作成する。
- ③ 特別支援学校等と情報交換を行い、ニーズの把握を行う。

(2) 新規共同生活援助事業所の開設準備（新規生活介護事業所と併設）

- ① ②は（1）に同じ。その他、入居希望者との面談等により、ニーズの把握を行う。

4) 人材確保と育成

- ① 様々な求人媒体を活用し、人員の確保に努める。
- ② 法人内実地研修及び学習会の実施
- ③ 各種研修への参加
- ④ O J Tの充実

5) 地域連携

(1) 各種連絡会等への参画

- ① 自立支援協議会
- ② 障害者の卒後と生活を考える会
- ③ 小平市障害者団体連絡会
- ④ 公益活動法人推進連絡会
- ⑤ グループホーム連絡会

(2) 地域貢献事業の実施

- ① 余暇支援の実施
- ② 地域の清掃活動
- ③ 体験実習の受入れ
- ④ 会議室等設備の貸与

3 その他

1) 理事会

- (1) 月1回定期的に開催し、事案に迅速に対応していく。
- (2) 役員改選を法制度に基づき計画通り実施する。

2) 評議員会

- (1) 6月の定時評議員会の他、定款変更など必要に応じて開催する。

3) 広報活動

- (1) 年2回の機関誌の発行

(2) ホームページの充実と定期的な更新

(3) 賛助会の充実